

平成30年度 (公財)日本バレーボール協会公認
ソフトバレーボールリーダー養成講習会開催要項

- 1 目 的 国民の生涯スポーツの一環として全国に定着しつつあるソフトバレーボール(愛称ソフトバレー)において、目的が多様化する愛好者に対し、正しく・楽しく技術指導することができ、自主運営が原則のソフトバレーボールの試合において、正しく審判・競技運営ができるリーダーの養成を目的とする。
- 2 主 催 (公財)日本バレーボール協会・日本ソフトバレーボール連盟
- 3 後援(予定) 岩手県 (公財)岩手県体育協会 岩手日報社(株)エフエム岩手
- 4 協 賛 名鉄観光サービス株式会社
- 5 主 管 (公財)日本バレーボール協会 生涯スポーツ普及委員会
日本ソフトバレーボール連盟 指導普及委員会
岩手県バレーボール協会
岩手県ソフトバレーボール連盟
- 6 オフィシャルボール 株式会社ミカサ 株式会社モルテン
- 7 期 日 1日目 平成30年7月29日(日)
2日目 平成30年8月12日(日)
- 8 会 場 〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳8地割1-3(☎019-637-1000)
7月29日(日) ふれあいランド岩手 体育館・研修室
8月12日(日) ふれあいランド岩手 体育館
- 9 参加資格 各都道府県バレーボール協会ソフトバレーボール関係者
各都道府県ソフトバレーボール連盟関係者
各都道府県・市区町村スポーツ行政担当者
その他、小学生バレーボール指導者、一般愛好者
参加申し込み時には、JVA個人登録が済んでいること
- 10 講習内容 1日目 7月29日(日)
8:30~8:50 受付(ふれあいランド岩手 体育館)
9:00~ 開講式(ふれあいランド岩手 体育館)
《集合講習~実 技》3時間 (9:10~12:30)休憩含む
実 技 ・ソフトバレーボールの指導法
・ソフトバレーボールの審判法
《集合講習~基礎理論》3時間 (13:30~17:00)休憩含む
講 義 ・ソフトバレーボールの歴史と普及の意義
・ソフトバレーボール指導者のあり方
・ソフトバレーボールの競技規則
・岩手県ソフトバレーボール連盟の現状と課題
・各種大会の企画と運営
《指導実習等についての説明》(17:05~17:20)

2日目 8月12日(日)

9:00~9:20 受付(ふれあいランド岩手 体育館)

《その他~指導実習》4時間以上(9:30~16:00)休憩含む
実習・模擬大会による競技運営・審判に従事する。

※「指導実習」終了後、県連盟開催地責任者が担当公認講師へ報告し認定する。

- 11 講師 (公財)日本バレーボール協会 公認講師
「補助講師」岩手県ソフトバレーボール連盟 マスターリーダー
- 12 資格付与 全課程を履修した受講者には、(公財)日本バレーボール協会が「公認ソフトバレーボールリーダー」として認定証を授与する。
- 13 受講料 6,500円(ソフトバレーハンドブック、ルールブック、競技運営の手引き、認定証、ワッペン代金を含む。)
【振込先】郵便振込口座番号 02210-3-84889
「岩手県ソフトバレーボール連盟」
※申し込み後のキャンセルの場合、ワッペン代(1,750円)を除く諸費用は返金しない。ハンドブック、ルールブック、競技運営の手引きは申込者にお渡しします。
- 14 携行品 運動に適した服装・運動靴・ホイッスル(長・短)・筆記用具
- 15 申込方法 別紙申込書に必要事項を記入の上、下記問い合わせ先に申し込むこと。
(メールでの申込みの方にはデータを送信します。)
受講申込書にJVA個人登録のID番号を必ず記入してください。
- 16 申込期限 平成30年6月25日(月)必着
- 17 その他 (1) 県内大会は相互審判で行いますので、各チーム2名以上のリーダー資格者がいることが望ましいこと。
(2) 東北大会はリーダー資格者が1名以上、全国大会はリーダー資格者が2名以上いることが参加条件となります。
(3) 参加者はスポーツ傷害保険に加入しておくことが望ましい。
(4) 参加者の健康管理については、本人の責任としてこれを受け止め、十分留意すること。なお、講習中の参加者の負傷については、応急処置は行うが、それ以外は一切の責任は負わない。
(5) 車で来場の受講者は、第2駐車場をご利用ください。
- 18 問合せ先 岩手県ソフトバレーボール連盟 理事長 福士 徹
〒028-8201 九戸郡野田村野田19-105
TEL 0194-78-2452
FAX 0194-75-3238
携帯電話 090-9031-6612
E-Mail toru3332@sky.plala.or.jp